



わだしいすき

第65号 平成26年12月25日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

「花とくじら」絵画展

11月16日(日)に「第3回WAO!感謝祭」が行われたことは先月号でお知らせしました。それに併せて「花とくじら」絵画展を、11月の1ヶ月間行いました。

和田地区を中心に応募を呼びかけたのですが、市外からも応募があり、小・中学生や一般の方から全部で156点もありました。いずれもすばらしい作品でしたが、その中から特に優れた作品を優秀賞、優良賞、勇魚文庫賞(ギャラリー内のクジラに関する資料を貸し出してくれている方からの賞)として表彰しました。



優秀作品を展示

優秀賞と勇魚文庫賞は次の方々と、和田地域センター内の掲示板に掲示してあります。地域センターに来所した際には、ぜひ見ていただきたいと思います。



表彰式の様子

優秀賞(各部門ごと)

1年一才村 昊太さん、2年一根本 悠香さん、
3年一長谷川 友菜さん、4年一長谷川 健司さん、
5年一福原 香介さん、6年一湊邊 杏奈さん、
一般一樋口 朋佳さん、吉田 香織さん

勇魚文庫賞一羽 美空さん

安房拓心高校 冬の農業祭

11月29日(土)に拓心ファームフェスタ(冬の農業祭)が開かれ、赤や白のシクラメンやパンジー、ノースポールなどの苗が販売されました。これは園芸系列の生徒たちが、学校の協和農場内で実習をとおして育てたものです。

あいにく朝から雨でしたが、市価の半値ぐらいの値段で、また品質もよいので、販売開始30分以上前から並び始め、行列ができていました。そのため、予定より早く販売を始めたのですが、多くの方が来場していたので、温室では入場制限をしながらの販売となりました。



赤や白で華やいだハウス内

和田町内だけでなく館山や鴨川などからも来場し、せっかく来たからと一人でシクラメンを5鉢購入した人や、パンジーの苗をケースごと購入する人なども見られました。人気の高さを伺わせてくれました。

駐車場付近では、長ネギやカブなどの野菜も販売されていましたが、やはり安くて品質がよいので、早々に売り切れていました。

シクラメンは成長が遅かったものが育ってきているので、現在も協和農場で販売しているそうです。

そば作りに挑戦しませんか

和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたのは、今年の12月でした。その和食を代表する料理の一つにそばがあります。そこで和田地域づくり協議会にぎわい部会でも、次のように『そば作り体験教室』を開催します。ふるってお申し込みください。

1. 日時 **平成27年1月31日(土) 11:00~**
作り終えた後、自分で作ったものを食す予定です
2. 会場 和田コミュニティセンター1階いきがいスペース
3. 参加費 **800円**
4. 定員 10人—定員になり次第締め切り
5. 申込先 **和田地域づくり協議会 47-3427**
6. 持ち物 エプロン、三角巾



南房駅伝

12月7日(日)に恒例の南房駅伝が行われました。この日は穏やかな天候で、各地の中継地に多くの応援者が訪れていました。

各チームの走り終えた走者に対しては「お疲れさま」などの声かけられ、拍手が起きていました。次の走者へは「マイペースで」などのアドバイスが送られていました。

4区と5区の中継点ではトップが安房高校でした。その安房高校と15分以上の差が開くと繰り上げスタートになり、残念ながら約20チームがスタートしていきました。



ローズマリー公園付近

和田体協は3チームも出場し、Aチームはなんと2位という好成績でした。

選手の皆さん、お疲れ様でした。

ワイヤーワーク

公民館講座で和田地区の生涯学習推進委員が企画した「ワイヤーワーク(初級編)」が12月10日(水)に和田コミセンで開かれました。

はじめにワイヤーワーク(針金細工)に慣れるため、ラジオペンチを使って曲げたりひねったりして、「イヌ」の形を作りながら基本を学びました。

その後「フォトスタンド」作りに取り組みました。作っている間、講師が「適当でいいのですが、その適当が一番難しい」などと、絶妙な言葉かけで場を和ませてくれました。

参加者は、「何ヶ月後、自分で作ったものを持ち寄り評価し合うのもいいね」と、話し合っていました。



真剣なまなざし

ふるさと美化運動

わだまち

和田地区では旧和田町の時から、毎月第1日曜日をふるさと美化運動として、各区ごとに美化活動(区により日程等に違いがあります)に取り組んでいます。

今月7日(日)も、いくつかの区では美化活動に取り組んでいました。海岸に打ち寄せられた燃えるゴミを集め、燃やしている区もありました。その様子を見ると、竹が多かったように感じました。また参加者は地域住民だけでなく、地域内にある企業も参加していて、和田地区全体で美化運動に取り組んでいることを感じました。

この「わだすき」が回覧される頃には、各家庭では大掃除が終わっていると思いますが、美化意識はいつまでも持ち続けていしましょう。



多くの方々が参加